

不動産テックのFANTAS technology、ジェクトワンと業務提携 ～所有者の希望に応じて、空き家の「売却」と「活用」の双方にまたぐ サポートを開始し、空き家問題の抑制に貢献～

不動産テックのFANTAS technology株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：國師康平 以下、FANTAS technology）は、不動産の売買・賃貸・仲介および空き家活用事業「アキサポ」を展開する株式会社ジェクトワン（本社：東京都渋谷区、代表取締役：大河幹男 以下、ジェクトワン）と、社会課題である空き家問題の抑制に貢献することを目的に、業務提携を開始しましたのでお知らせします。



■業務提携の背景

FANTAS technologyは、2015年より空き家買取再販事業を開始、公民連携での取り組みも強化しており、国土交通省「住宅市場を活用した空き家対策モデル事業」に2年連続で採択されています。2021年からは業界初の空き家・中古戸建て特化のプラットフォーム「[FANTAS repro](https://fantas-repro.com/)」（<https://fantas-repro.com/>）を提供しています。「FANTAS repro」では、空き家・中古戸建て物件への入居時に必要となるリフォーム費用のシミュレーションが可能であり、今後は、空き家購入を考える購入者と、要修繕リスクを洗い出したい売却希望の所有者・不動産会社のマッチングを目指しています。その一方で、物件を手放したくないという所有者の意向に直面することもありました。

このたび業務提携をするジェクトワンは、2016年から地域コミュニティの活性化に貢献することを目的に空き家活用サービス「[アキサポ](https://www.akisapo.jp/)」（<https://www.akisapo.jp/>）を展開しています。空き家を借り受け、物件の特性や地域のニーズに合わせたリノベーション工事を「アキサポ」の全額費用負担で行い、一定期間転借する「アキサポ」は、首都圏を中心に100件超の空き家解決実績を有します。また、2021年からは全国の空き家問題に対応するため、「アキサポ」の全国展開も進めています。全国各地から問い合わせをいただくなかで、活用だけではなく売却を希望する声も頂戴するようになりました。それに併せて様々な所有者の要望に対し、多角的な視点から応える必要性も出てきました。

今回の業務提携により、空き家買取再販事業を行うFANTAS technologyと、空き家の所有者を変えない空き家活用事業を展開するジェクトワンと双方のサービスの提案が可能となります。空き家問題の解決に取り組んできた両社は、空き家の増加に伴い多様化する所有者の悩みに寄り添い、共通の目的である空き家問題抑制への貢献を目指します。また、今回の業務提携を通じてお互いのシナジーを活かしながら、事業のさらなる発展に寄与していきます。

■業務提携のスキーム

まずは一都三県の空き家所有者に対し、対策に応じて相互に顧客を紹介します。



- ◆ 空き家活用・修繕費用の相談・ヒアリング
- ◆ 行政連携（空き家調査）の活用希望

対策に応じて顧客を
相互に紹介



- ◆ 空き家活用・空き家対策の相談・ヒアリング
- ◆ 相談内容に応じた解決策の提案

解決策を検討した結果、「活用」も可能と判断

売却ではなく活用希望の所有者に向けて
情報整理とヒアリングなど初期対応をしたうえで、
ジェクトワンへ顧客を紹介。

二アマネージャー 印南

解決策を検討した結果、「売却」が適切と判断

売却希望の所有者に向けて
情報整理とヒアリングなど初期対応をしたうえで、
FANTAS technologyへ顧客を紹介。

「空き家を空き家のままにする」それが一番よくないことだと考えています。空き家を所有することになってしまった場合、誰かに相談すれば解決できる世の中にしたいという想いで「アキサポ」に取り組んできました。

現在では首都圏の空き家所有者様からだけでなく、全国や遊休不動産を持つ企業様からも、空き家について数多くのお問い合わせをいただいています。この度のFANTAS technology様との業務提携により、空き家問題を抱える方へこれまで以上に多様な解決方法をご提案できることを期待しています。

<FANTAS technology株式会社 事業企画グループ シニアマネージャー 梅本 征吾 コメント>

空き家を所有しているが、「どうしていいかわからない」「どうせ価値がないので」などと思われ、そもそも空き家の活用を諦めている方が多くいらっしゃいます。そのような方に空き家の可能性をお伝えすることで、空き家の流通のキッカケを作りたいと思い「空き家の可能性見える化プロジェクト」に取り組んできました。

空き家を調査し、利活用を提案する中で資金的な問題で最適な活用に踏み出せないという事例もありましたが、今回ジェクトワン様との業務提携により、空き家の利活用の選択肢が増え、より最適な提案が可能となります。ジェクトワン様のような空き家問題に真摯に取り組む企業と連携していくことで、更に空き家流通に貢献していければと考えています。

<株式会社ジェクトワン 会社概要>

社 名： 株式会社ジェクトワン
所 在 地： 東京都渋谷区渋谷一丁目7番7号 住友不動産青山通ビル13F
設 立： 2009年1月28日
代表取締役： 大河 幹男
資 本 金： 1億円（2022年3月時点）
社 員 数： 73名（2022年11月現在）
事業内容： 総合不動産開発事業（住宅、ビル、商業、ホテル）、リノベーション事業、街なか再生事業、不動産コンサルティング事業、空き家活用事業（アキサポ：<http://www.akisapo.jp/>)
ホームページ：<https://jectone.jp/>

<FANTAS technology株式会社 会社概要>

社 名： FANTAS technology株式会社
所 在 地： 東京都渋谷区恵比寿4-3-8 KDX恵比寿ビル5F
創 刊： 2010年2月22日
代表取締役： 國師 康平
資 本 金： 1億円
事業内容： オンラインとオフラインを融合する※「FANTAS platform」事業
・ AIを活用した不動産/金融領域におけるマッチングサービス
・ カスタマーサクセスを重視したクラウド型資産管理アプリの提供
・ クラウドファンディングを通じた空き家の再生
※Online Merges with Offline (OMO)
ホームページ：<https://fantas-tech.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ】

FANTAS technology株式会社 広報：小川（直通：090-8465-2043）

TEL：03-5424-1800/FAX：03-5424-1801/mail：pr@fantas-tech.co.jp